

題名：ゴシック体 15ポイント

氏名（発表者）*，氏名**：明朝体 14ポイント

*所属：明朝体 12ポイント

所属：複数氏名で所属が異なる場合、で対応をとる

Paper Title: Times 12 points

Author Name(s): Times 11 points

Affiliations: Times 10 point

The abstract should be written with around 200 words and *****

1. はじめに

これは、日本画像学会 I C J [Imaging Conference JAPAN] 予稿集原稿作成のためのテンプレートとなっています。投稿の際、著者は「予稿集原稿作成要領」を熟読のうえ、本テンプレートのスタイルタグを利用し、原稿を仕上げてください。（本文を英文で記入される方は、Template_ICJ_jpn2.doc をお使い下さい）

2. 原稿のサイズ

用紙はA4<縦>に、天地左右2.0cmの余白を取ってください。また、図表を含めて4ページ以内として下さい。

3. 予稿原稿の構成

本予稿原稿はまず、1ページ目上部に講演題目と著者情報を記入し、概要 (abstract) を英文 100words 程度で記入します。次に、2段組で本文を記入して下さい。この際、本文には適宜、セクションタイトル、サブセクションタイトルを付けてわかりやすく仕上げて下さい。また、1ページ目左カラム下段には、脚注には所属機関などの「郵便番号、住所（連絡先）」を和文と英文でそれぞれ書いてください。また、任意ですが、講演者の e-mail アドレス記載を奨励します。

脚注には、住所（和文、英文）を記入（各1行）する。
文字サイズ8ポイント、和文は明朝、英文 Times 系。

* 〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5

* 2-9-5 Honcho, Nakano-ku, Tokyo, 164-0012, Japan

e-mail: gazou@isj.org

4. 各項目のスタイルについて

予稿を構成する各項目（講演題目、著者名、所属、Abstract、セクションタイトル、サブセクションタイトル、本文、図表、図のキャプション、表のキャプション、等）は、スタイルタグを利用して、段落の一括設定をすることが出来ます。メニューバーから、[書式] → [スタイルと書式] を選択し、スタイルの構成を確認して、ご利用下さい。

4-1. 各スタイルタグの詳細

各スタイルタグは、Table 1 のような構成となっております。各要素の段落を選択し、適切なスタイルを設定することで、書式が変更されます。

Table 1 List of Style Tags

ICJ 1.1 題名	15pt ゴシック系，中央揃え，行送り 22pt
ICJ 1.2 著者名	14pt 明朝系，中央揃え，行送り 16pt，段落前後 12pt
ICJ 1.3 所属	12pt 明朝系，中央揃え，行送り 16pt
ICJ 2.1 Title	12pt Times 系，中央揃え，行送り 16pt，段落前 12pt
ICJ 2.2 Author	11pt Times 系，中央揃え，行送り 16pt
ICJ 2.3 Affiliation	10pt Times 系，中央揃え，行送り 16pt
ICJ 3 Abstract	10pt Times 系，両端揃え，行送り 12pt

ICJ 4 脚注	8pt 明朝系もしくはTimes系, 左揃え, 行送り12pt
ICJ 5.1a セクションタイトル(1のみ)	10pt ゴシック系, アンダーライン, 両端揃え, 行送り14pt
ICJ 5.1b セクションタイトル(2以降)	10pt ゴシック系, アンダーライン, 両端揃え, 行送り14pt, 段落前14pt
ICJ 5.2 サブセクションタイトル	10pt ゴシック系, 両端揃え, 行送り14pt, 段落前10pt
ICJ 6 本文	10pt 明朝系, 両端揃え, 行送り14pt
ICJ 7.1 図表貼り込み位置	中央揃え, 行送り1行, 段落前後6pt
ICJ 7.2 Figure Caption	10pt Arial系, 両端揃え, 行送り12pt, 段落後6pt
ICJ 7.3 Table Caption	10pt Arial系, 両端揃え, 行送り12pt, 段落前6pt
ICJ 9.1 参考文献タイトル	10pt ゴシック系, 中央揃え, 行送り14pt, 段落後6pt
ICJ 9.2 参考文献リスト	9pt 明朝系もしくはTimes系, 左揃え, 行送り11pt, 段落後2pt

4-2. 設定したスタイル内での書式の変更

スタイルタグを用いて設定した書式は、必要であれば適宜変更の上、ご利用頂けます。例えば、参考文献のラベルは、スタイルで「ICJ 6 本文」を指定した後に、「上付文字」を指定して下さい。細かな書式設定を行った後に段落のスタイル設定を行うと、最初に設定した書式は消去されますのでご注意ください。

5. 図、表

タイトルおよび説明文は英文で書き、図面は明瞭な電子データを準備し、適切な方法を用いて文書内に張り付けて下さい。写真は、白黒のコントラストの高いものを用いて同様に貼り付けて下さい（冊子印刷時の原稿に利用するものに関して）。予稿集冊子は白黒印刷ですが、PDF ファイルはカラーでの表示が可能となります。



Fig.1 ISJ's logo

6. 参考文献の記載方法

参考文献は、著者、題名、雑誌名、巻、頁、発行年をこの順に出来るだけ英文で記載して下さい。その際に、参考文献が和文である場合には、発行年の後ろに[in Japanese]と付記して下さい。このテンプレートの参考文献は、1)が書籍の場合、2)が論文の場合、3)が会議予稿の場合を示しております。

参考文献

- 1) S. M. Sze: Physics of Semiconductor Devices (Second Edition), (John Wiley & Sons, New York, 1981).
- 2) N. Nagayama: Photorefractive Polymer as a Holographic Recording Medium, NIHON GAZO GAKKAISHI, 45, 277-282 (2006) [in Japanese]
- 3) N. Nagayama, N. Nakamura, and M. Yokoyama: Pixel Image Formation on a Multi-Layerd Organic Film Installed with Pixel -Like Floating Electrodes, Proceeding of NIP20: International Conference on Digital Printing Technologies (Salt Lake City, Utah, USA), 543-546 (2004).